

倫理審査委員会議事

1. 日時 平成28年12月15日(木) 15:08 ~ 15:17
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 特命副院長、精神科医師(長嶋先生)、事務部長、薬剤科長、看護部長、矢崎外部委員、三好外部委員、庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名 統合失調症者における「自己概念測定尺度」の内容妥当性の検討(申請者:看護師(3病棟) 菅原 裕美)

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 38番の間と43番の間の違いは何ですか。

申請者

○ 測定尺度を作るにあたって、元々の自己概念がどういうものかというものを定義したものの参考に行っているのと、統合失調症の方にインタビューしたデータを抽出しているのと、過去の文献等を入れていくと、願望と理想というのが違うと定義されていて、統合失調症者にとって違いが難しいかもしれませんが、今回は内容の妥当性なので、どれかを削るとかといった作業を当事者の方に聞いたりしながら、どちらも入れさせていただいたという経緯があります。

委員

○ 最終的な目的は、良いアンケートを病気のある人と作っていくことですか。

申請者

○ そうです。10名の方に見てもらって、答えやすい項目や簡単な答え方を見つけられれば、次にそれを統合失調症の方に回答してもらいます。

委員

○ インタビューの方法としては、例えば、私は自分の性格については話せるという風に聞いて、相手の患者さんが、もし詰まったならどう修正案を考えているのですか。

申請者

○ 前の研究でもはい・いいえで答えてもらったのですが、やっていくときに、ちょっとこれはどういう意味ですかと言ってもらって、これは考えますねというように結構言ってもらっていたので、それは聞きながら行っていこうと思っています。

委員

○ 妥当性はどうやって検討するのですか。

申請者

○ 10名の方のあまりにも答えにくい場所や分かりにくい表現が、どこかに集約されれば、そこを削るか、提案していただいた修正項目を次の研究で生かしていきます。

委員

○ 20分位かかるそうですが、時間的には大丈夫ですか。患者さんの集中力とか持続力とか問題ないでしょうか。

申請者

○ 個人によっては途中で疲労感があったら、休憩を取って、そのときにできそうであればやりますけど、日を開けるのであれば、そこはスタッフとも話し合っていきたいと考えています。

【審査結果】

議題 統合失調症者における「自己概念測定尺度」の内容妥当性の検討承認してよろしいか。
→異議なし（承認）

以 上